



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第17号(2008年6月30日)



## UAEの空港建設ラッシュ

2006年のドバイ国際空港の乗降客数は3,453万人で世界の第27位に位置しておりますが、現在世界の乗降客数の成長率の平均より40%高い成長率で乗降客数が伸びており、ドバイ国際空港は今後5年以内に乗降客数で世界のトップ10に入ると言われております。ドバイ国際空港は45億ドルをかけ、第3ターミナルと2つの新しい空港ビルを建設しています。これにより年間で7,000万人の乗客が利用可能になります。これに対抗するようにアブダビ国際空港も、年間4,000万人以上の乗客と250万トン以上の貨物を取り扱い可能にするための拡張工事に68億ドルをかけています。

そして最大の計画は100億ドルの予算で建設中のドバイ・ワールド・セントラル・アル・マクトゥーン国際空港です。毎年1億6,000万人以上の乗客が利用できる2つのメガターミナル、6本の滑走路が造られます。

ちなみに2006年の乗降客数世界一の空港はアトランタ空港で8,938万人、日本の羽田空港は6,667万人、成田空港は3,553万人になっています。(出所: airport council international)

ドバイは世界の物流のハブ(集積地)を目指し、猛スピードで開発が行われています。現在は24時間常にラッシュアワーのように混雑していますが、今後どうなっていくのでしょうか。

(無きにしもアラブ)



(出所: Dubai Airport, Dubai World Central)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



## 古い車は禁止？

ドバイで古い車が乗れなくなるかもしれません。

先日、ドバイ政府が排ガス削減のために、古い車の使用を禁止する、といった法律の制定を検討していることが報道されました。この法律の内容は、まずはじめに20年以上経過した車の使用を禁止して、2010年1月には、15年以上経過した車の使用を禁止するといったものだそうです。

急速な発展を遂げる一方で、こうした環境にも配慮し始めるあたりは、さすが国際都市を目指すドバイ、対策の打ち方が一手も二手も早いようです。そして、おそらくこうしたドバイの動きに追随するかたちで、他の湾岸諸国も環境保全の対策を打ち出してくることでしょう。

今や、どこの国でも、環境への配慮なくして、健全な成長はないのです。

(グッドバイ)



## ハリウッドスターがデザインするホテル

ハリウッドスターがドバイのリゾート施設を購入しているのは有名な話ですが、今度は彼らがホテルの設計に携ってしまうそうなのです。

ご存知ハリウッドスターのブラッド・ピット氏が、ドバイの不動産会社ザビール社が建設を計画している高級ホテルの設計に携るそうなのです。詳細は今後発表されるようですが、一言で言って「見て驚き、宿泊したら気絶するくらい立派なホテル」と報道されています。と言われると、一体どんなものなのか、早く詳細を知りたいところですが、想像は膨らむばかりです。

まるでハリウッド映画の中にいるような気分させてくれるくらい、ゴージャスなホテルかもしれません。

(グッドバイ)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



# 『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



## 税率100%の税金導入

現在GCC(湾岸協力会議)において、最高税率100%の<sup>しゃし</sup>奢侈税  
(ぜいたくの範囲と認められる物品・サービスに課せられる間接税)の  
導入が検討されています。

課税対象は未定ですが、自家用ジェット機、ヨット、高級車などのぜいたく品が対象となるようです。  
また、これらのぜいたく品以外にも、タバコなどの人体に有害な物質も課税対象となる可能性があるとの  
ことです。この全く新しい税金は2012年からの導入が予定されています。



(ミドル・イーストウッド)

## アラブのマンガ



アラブの人に“マンガ”と言われたら、それはマンガのことです。日本が世界に誇るマンガ文化は中東でもやはり人気なのです。

また、中東でマンガが流行してきた背景には、やはりインターネットがあります。

というのも、アラブ世界では80年代にアラビア語に吹きかえられた日本のアニメ『レディ・オスカー(ベルサイユのバラ)』や『グレンダイザー』が、マンガ人気の先駆けとなりましたが、当時のアラブ諸国ではマンガ本自体の入手はとても困難でしたし、そのほとんどがフランス語版だったので、その人気には限りがありました。しかし、インターネットが普及し、ウェブの自動翻訳機能を通じてマンガを読むことが出来るようになってきたことで、現在マンガ人気はにわかに急上昇してきています。フランスでのマンガ人気はすでに日本文化の一部として認知されていることは周知の通りですが、その波が欧州からアラブ世界にも押し寄せてきているわけです。

いつの日かアラブのアニメーターによるアラブの都市を舞台にしたマンガが生まれる日も近いことでしょう。超高層ビルを舞台にした『アラビニャン(アラビアン)・ニンジャ・マンガ』とか、ありそうですね？！

(中東採用)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移  
(各市場の直近3ヶ月)

ドバイ金融市場総合指数



サウジアラビア タダウル全株指数



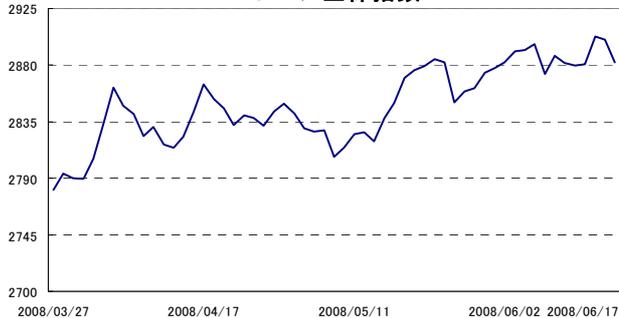
クウェート証券取引所指数



アブダビ証券取引所株価指数



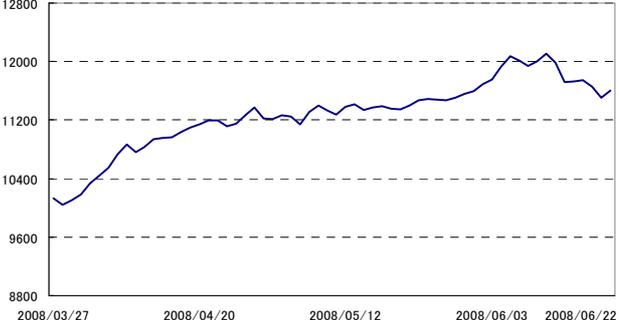
バーレーン全株指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:ブルームバーグ



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。